

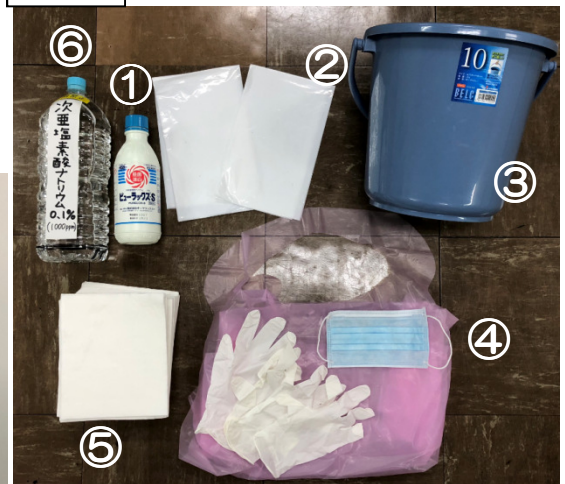
# 嘔吐物処理方法について

西部保健所広島支所 保健課 保健対策係

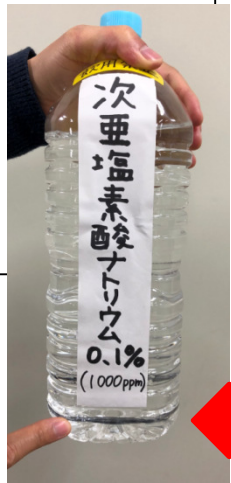
## 《事前準備》嘔吐物処理セット内容（例）》

- ①次亜塩素酸ナトリウム（ピューラックス、ハイター等）  
※使用期限に注意（1年）。子どもの手の届かない、日の当たらないところに保存する。  
※「飲みこみ注意」等の注意書きを
- ②ビニール袋（2枚以上）
- ③バケツなどの入れ物（あれば）
- ④使い捨てマスク、エプロン、手袋
- ⑤ペーパータオル（白）やキッチンペーパー、使い捨てタオル等の拭くもの
- ⑥ペットボトル（消毒液希釈用）

(1)



※すぐに消毒液が作れるように、次亜塩素酸ナトリウムを入れる線を書いておくといよい。

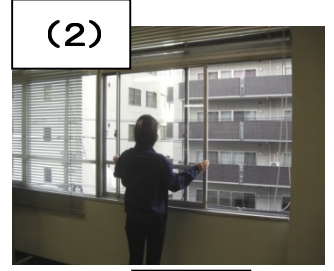


### (1) 近くにいる人を移動させる。

- ・できるだけ、他の園児や利用者がある部屋は避け、誰もいないところへ移動させる。
- ※同じ部屋の人（特に嘔吐時近くにいた人）感染している可能性あり。経過観察が必要。

### (2) 換気をする。

- ・ノロウイルスは乾燥に強く、浮遊する。
- ・ウイルスを吸い込むのを防ぐためすぐに換気をする。



### (3) 嘔吐物処理セットを準備する。

- ・ビニール袋をバケツ等にセットし、2重にして口を広げておく。
- ・消毒液をペットボトル等に0.1%（1000ppm）に希釈して入れる。

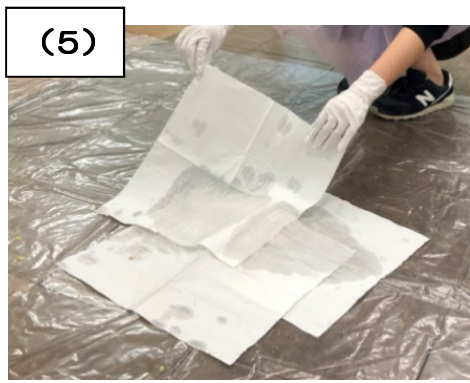
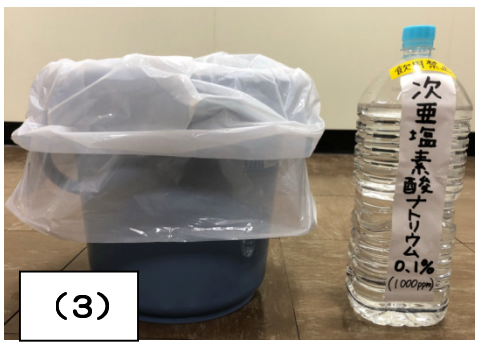
### (4) 防護具を着用する。

- ・エプロンとマスク→手袋の順で着用する。
- ・指輪や時計等を外し、髪は束ねておく。長袖の場合はまくり上げる。



### (5) 嘔吐物をペーパータオルで覆う。

- ・1番汚染されている部分を先に覆う。
- ・嘔吐直後に応急的に覆うのも可。



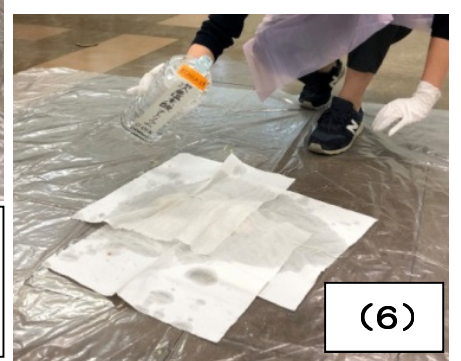
(3)

(5)

↑ ※流行している時には毎朝作り置きしても可。（直射日光を避けて保存し、翌日には取り替える。）

### (6) 嘔吐物に消毒液をかける。

- ・たっぷりとかける。
- ・吐物を乾燥させないようにする。

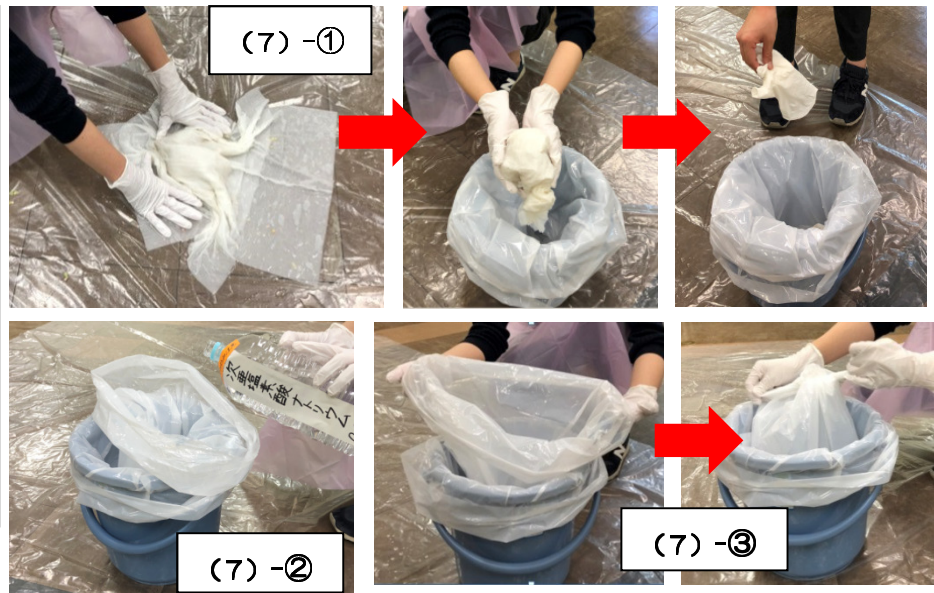


(6)



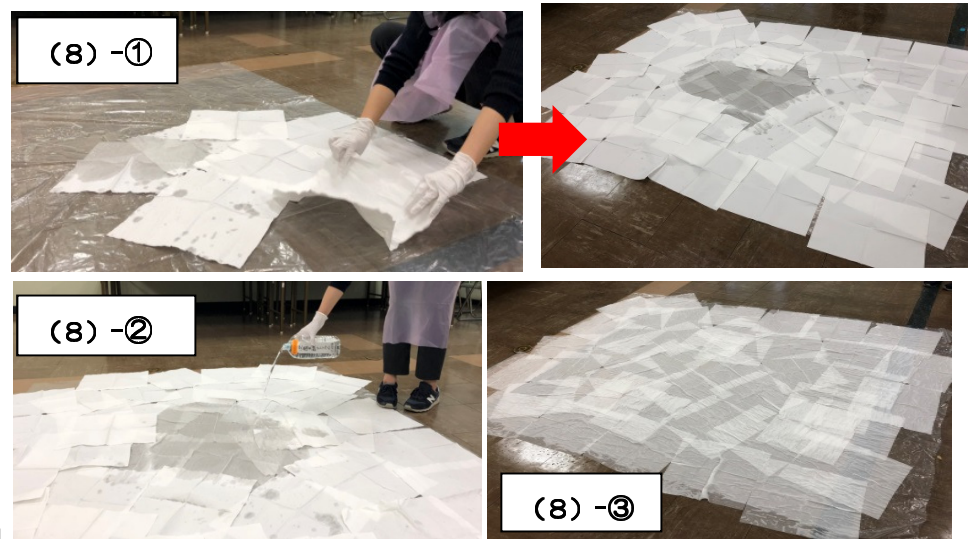
### (7) 嘔吐物の処理をする。

- ①ペーパータオルで覆った吐物を外側から内側によせながら包み込み、ビニール袋に捨てる。
- ②手袋を新しいものに交換し、(可能であれば消毒液をかけて) 1枚目の袋を閉じる。
- ③袋を閉じる際には、汚染された内側を触らないように閉じる。



### (8) 床の消毒を行う①

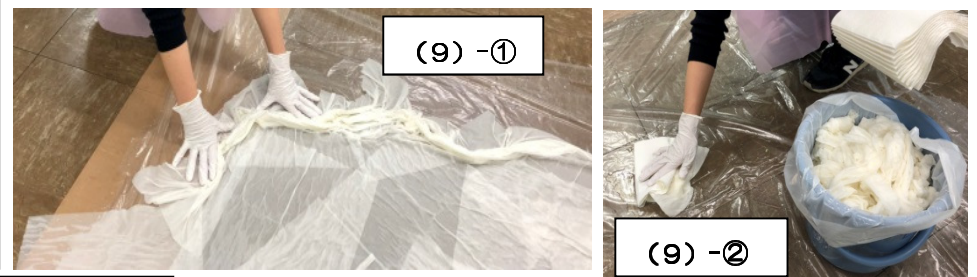
- ①嘔吐があった場所から2～3m外側の広い範囲をペーパータオルで覆う。
- ②ペーパータオルの上から消毒液をたっぷりかける。
- ③10分間置いておく。



※拭き取る際にエプロンや服の裾、手が付かないように注意する。

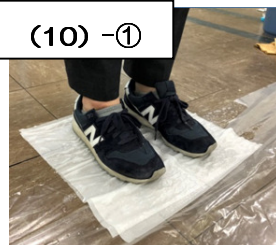
### (9) 床の消毒を行う②

- ①10分間経過したら外側から内側に向けて、拭き取り面を替えながら拭き取る。
- ②使い捨てのタオル等を使用し、しっかり拭き取る。



### (10) 靴底の消毒をする。

- ①消毒液を浸したペーパータオルを汚染された2～3mの円の1番端に置いて、踏み、消毒する。

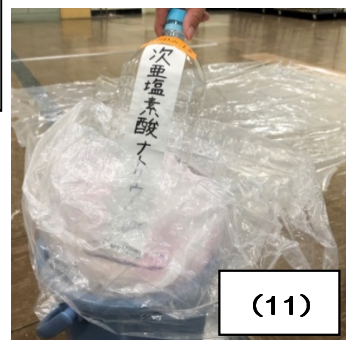
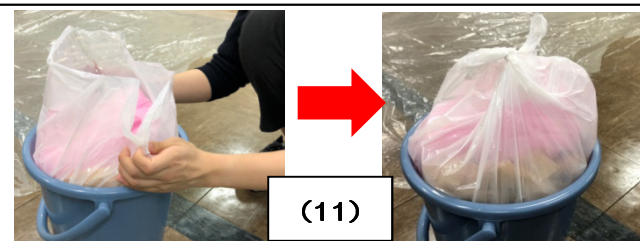


### (12) 手洗い, 消毒を行う。

- すべての処理が終了したら石鹸で十分に手を洗い、アルコールで消毒する。
- ゴミはできるだけ、建物内を通らない動線で廃棄する。(詳細は別紙)

### (11) 汚染物を廃棄する。

- 手袋・エプロン・マスクを外す
- 脱衣後は、外側のビニール袋に入れ、しっかり封をする。※詳細は別紙



←※大きいビニール袋をあらかじめ用意し、ペットボトルごと感染性廃棄物として廃棄しても可。



## ○手袋の外し方

①片方の手袋の裾をつかむ。②手袋を裏表逆になるように外す ③外した手袋を逆の手で持ってにぎる。



④袖口に手を差し込み，袖口の清潔面から裏表逆になるようにひっくり返していく。



⑤廃棄する。



## ○エプロンの脱ぎ方

①首ひもをちぎる



②汚染されている表面が内側になるように腰のあたりで折りたたむ。



③適当な大きさにまとめ，腰ひもをちぎって廃棄する。



## ○マスクの外し方

①ゴムひもを持ってはずす。





②マスクの表面に触れないように，ひもをもって廃棄する。



○十分な手洗いと  
アルコール消毒



## ○次亜塩素酸ナトリウムの希釈方法

消毒液を使用する場所・物	出来上がる消毒液の濃度	作り方
ドアノブ, 手すりなど, 感染者が直接接触した場 所・物	200ppm (0.02%)	家庭用塩素系漂白剤 10ml 水 2.5ℓ (ペットボトルのキャップ2杯分)  (500ml のペットボトル5本分)
嘔吐物, 便が直接付着 した場所・物	1000ppm (0.1%)	家庭用塩素系漂白剤 10ml 水 0.5ℓ (ペットボトルのキャップ2杯分)  (500ml のペットボトル1本分)

## ○消毒方法

### 《環境清掃》

- ・ドアノブなど, 手が触れる場所の清掃はこまめに!
- ・0.02%次亜塩素酸ナトリウムでの消毒。(もしくはアルコールで2度拭き)



### 《トイレなどの清掃》

- ・汚染された場合は0.1%次亜塩素酸ナトリウムによる消毒。
- ・金属部分は次亜塩で消毒後に水拭きを行う。(もしくはアルコールで2度拭き)

### 《衣類・リネン類・布団等》

- ・吐物を拭き取り, 消毒液を浸したタオル等で拭くまたは熱湯消毒(85℃で1分間以上浸す)。
- ・布団等すぐに洗濯できない場合は, 吐物を拭き取り, 消毒液を浸したタオルで拭いたのち, スチームアイロンや布団乾燥機を使用。

※スチームアイロンは高温の蒸気でゆっくりと2分以上当てる。

消毒やアイロン後は外に丸一日, 日干しをすれば使用可。



### 《カーペット・畳等》

- ・消毒液を浸したタオル等で拭いたのち, スチームアイロンをゆっくり当てる。  
または, 熱湯消毒(85℃ 1分間以上浸す)。  
※スチームアイロンは高温蒸気でじわーっとあつためる。
- ・畳等は吐物を消毒液を浸したタオル等で拭いたのち, 濡れ雑巾を引いてスチームアイロンをあてる。なかなか温度が上がりにくいのが現状。
- ・アイロン後は外に丸一日, 日干しをすれば使用可。(消毒液を浸したタオル等をかけて干しておくのもあり)